

平成24年度 事業計画

日本リウマチ財団は、昭和62年の設立以来、着実な事業推進により多大な成果をあげてきた。平成23年4月1日より公益財団法人に移行し2年目を迎え、今後はさらに、その基盤を確固たるものとするために従前から実施している各種事業の一層の充実強化を図る他、関係団体と連携してリウマチ性疾患の征圧に対する社会の要請と期待に応えるように努め、より高い公益性を追求した事業を展開することといたしたい。

平成24年度の主な事業は次のとおりである。

1 調査・研究及びその助成事業

- (1) 中長期的な研究計画のもとにリウマチ性疾患の治療研究を行う。
- (2) リウマチ性疾患治療薬等の治験の円滑実施を検討推進する。
- (3) 全国リウマチ登録医のネットワークを構築する。
- (4) リウマチ性疾患の病因究明、治療、予防、疫学等に関する広範な調査・研究の助成を行う。
 - ア 平成24年度リウマチ性疾患調査・研究助成（公募）
11課題 各100万円助成
 - イ 平成24年度三浦記念リウマチ学術研究賞
アの11課題のうち1題を選考し助成する。
 - ウ その他
- (5) 次の研究について助成するため顕彰し賞金を授与する。

平成24年度ノバルティス・リウマチ医学賞（300万円）（公募）

リウマチ性疾患の本態解明に関する研究で生命科学、情報科学、遺伝・環境科学、薬物科学等の分野で、顕著な功績を挙げた研究を顕彰し賞金を授与する。
- (6) 平成24年度（第15回）日本リウマチ財団柏崎リウマチ教育賞（100万円）
リウマチ性疾患に関する医学教育、患者教育、社会教育等の功績を顕彰し賞金を授与する。
- (7) 平成24年度日本リウマチ財団リウマチ福祉賞（記念楯、20万円）
リウマチ性疾患に悩む患者に対して永年にわたる医学的又は社会的救済活動を通じて、著しく貢献のあった個人または団体を顕彰し賞金を授与する。
- (8) リウマチのケアに関する事業を推進する。
- (9) 医療情報網の整備等について調査研究を行う。

2 普及啓発事業

- (1) 日本リウマチ財団ニュースを年6回発行し、リウマチ登録医等に配布する。
- (2) 平成24年度リウマチ月間（6月）啓発ポスターを作成し、医療機関、保健所、市町村保健センター等に配布する。
- (3) 「平成24年度リウマチ月間リウマチ講演会」を開催する。
月間事業に併せ同一会場において、医学賞等の授賞式を挙げる。

開催月日	開催場所	
平成24年6月3日（日）	東京都	丸ビルホール

- (4) 新しいリウマチ医療の導入、リハビリテーション医療のあり方等にかかる医療保険制度の問題点について検討し改善策を当局に提案、実現に努める他、診療報酬等に関する情報をリウマチ登録医等へ提供する。
- (5) リウマチ登録医の診療レベルの向上、リウマチに関する知識の普及啓発事業の展開を図るため、リウマチ登録医の会又は、リウマチ医の会の活動を推進する。
- (6) ホームページ・リウマチ情報センターを運営する。

リウマチ登録医等が必要とする情報を適宜、迅速に収集・提供し、頼られる情報センターとなるために活動を強化するとともに、逐次ホームページのリニューアル、システム改善の他、リウマチ情報センターにおいて対応した質疑応答集を患者さん向けに作成する。そのため事務局体制を強化する。

3 教育研修事業

- (1) リウマチ登録医等の教育の一層の推進に寄与するため、リウマチ教育研修会を開催する。

地区名	開催月日	開催場所
北海道地区	平成24年9月17日（月/祝）	札幌市教育文化会館
栃木地区	平成24年10月14日（日）	ホテル東日本宇都宮
岐阜地区	平成24年10月21日（日）	岐阜都ホテル
大阪地区	平成24年11月18日（日）	北浜フォーラム
鳥取地区	平成24年8月19日（日）	米子コンベンションセンター
宮崎地区	平成24年9月23日（日）	宮日会館

- (2) リウマチのトータルケア推進のためリウマチの治療とケア研修会及びR Aトータルマネジメントフォーラムを開催する。

ア リウマチの治療とケア研修会

地区名	開催月日	開催場所
北海道・東北地区	平成24年7月28日（土）	ホテルさっぽろ芸文館

関東・甲信越地区	平成24年8月26日（日）	JA長野県ビル
東海・北陸地区	平成24年9月30日（日）	ホテルグリーンパーク津
近畿地区	平成24年10月7日（日）	メルパルク京都
中国・四国地区	平成24年9月9日（日）	アークホテル岡山
九州地区	平成24年10月28日（日）	MRT micc

イ 第14回RAトータルマネジメントフォーラム

開催月日	開催場所	
平成25年2月2日（土）	東京都	品川インターシティ

(3) 登録リウマチケア看護師研修会

経過措置による登録希望者の資格取得の機会を増やすため開催する。

開催月日	開催場所	
平成24年8月5日（日）	東京都	ザ グランドホール品川

(4) インターネットを利用したeラーニングによる教育研修教材（第5弾：抗リウマチ薬と生物学的製剤の使い方）を作成し、引続き、eラーニングによる教育研修の充実に努める。

(5) 財団主催以外の教育研修会について教育研修単位の認定を行う。

(6) 海外研修のため派遣する医師10人を目途に助成する。（100万円）

(7) 日欧リウマチ外科交換派遣医制度に基づく事業として、今年度はヨーロッパリウマチ外科学会から派遣医2名を受入れる。

(8) 国際学会におけるリウマチ性疾患調査・研究発表に対し助成する。

国際学会においてリウマチ性疾患調査・研究を発表する若手研究者に対し、登録費用及び旅費、宿泊費用を対象として1学会について3名以内（国内で開催する国際学会は5名以内）に助成する。

学会名	助成対象金額	開催月日
ヨーロッパリウマチ学会（EULAR）	30万円	平成24年6月6日～9日
アメリカリウマチ学会（ACR）	25万円	平成24年11月9日～14日
アジア太平洋リウマチ学会（APLAR）	15万円	平成24年9月10日～14日
国内で開催する国際学会	5万円	

4 リウマチ登録医の養成事業

(1) 平成24年度新規リウマチ登録医の審査登録を行う。

(2) 平成25年度新規リウマチ登録医の申請受付を行う。

(3) リウマチ登録医名簿（追録）を作成し、リウマチ登録医等に配布する。

全国版（リウマチ登録医等配布用）3,800部

- (4) リウマチ登録医制度のあり方について昨年度に引続き検討し、リウマチ登録医規則等を改正する。

5 リウマチケア専門職制度の推進

看護師を対象に平成22年度より発足した「日本リウマチ財団登録リウマチケア看護師」制度については、第3次の募集、登録を行なう他、他職種についての制度創設について検討する。

6 災害時リウマチ患者支援事業の推進

東日本大震災における災害時リウマチ患者支援事業の検証結果を踏まえ、より実効性のある支援事業を実施するため、ネットワークの再構築等体制強化を進める。

7 国際交流及び関係団体への助成事業

- (1) 国際交流を深めるため役員等の海外派遣を行う。
- (2) リウマチ学に関する学術会議等の開催に対し助成を行う。
- (3) リウマチ患者団体の情報提供、医療相談等の活動に対し助成を行う。

8 その他事業

- (1) 平成23年8月、厚生労働省が公表した「今後のリウマチ対策の方向性等」の確実な実施を厚生労働省に働きかける。
- (2) 各大学、国公立病院にリウマチ診療科の設置を働きかける。
- (3) 各都道府県リウマチ登録医の会及びケア研究会の設置に努める。
- (4) 賛助会員の増加に努める。
- (5) リウマチ性疾患に関する調査・研究等の助成事業に充当するため募金活動を推進する。
- (6) リウマチ関係団体が行う大会、講演会等リウマチ対策の推進に寄与すると認められる事業については後援、協賛を行う。
- (7) リウマチケア専門職制度検討会を窓口として、欧州リウマチ学会リウマチ専門ナース制度に関する情報交換を積極的に行い、その浸透に助力する。
- (8) 時代のニーズを踏まえた事業が実際の医療現場と連動して展開できるよう、賛助会員の相互理解や交流を深める場として、法人賛助会員打合会を開催する。